



2024年7月1日
日本銀行札幌支店

北海道金融経済概況

2024年6月

<本件に関するお問い合わせ先>
日本銀行札幌支店 営業課（電話011-241-5232）
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/sapporo/>

<当店ホームページ>



全体感

北海道の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。

すなわち、公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。観光は、回復している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、下げ止まっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

項目別判断の前回との比較

		前回	今回	変化
総括判断		一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。	→
需要項目	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。	→
	輸出	下げ止まっている。	下げ止まっている。	→
	設備投資	持ち直している。	<u>緩やかに増加している。</u>	↗
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。	物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。	→
	住宅投資	減少している。	減少している。	→
生産		横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。	横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。	→
雇用・所得		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。	→

総括判断の推移

	公表日	前回比	総括判断
2022年 5月	5/27日	↗	新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している
6月	7/1日	→	同上
7月	7/29日	→	緩やかに持ち直している
8月	会見なし	(→)	(同上)
9月	10/3日	→	同上
10月	10/24日	→	同上
11月	11/25日	→	同上
12月	12/14日	→	同上
2023年 1月	1/30日	→	同上
2月	2/24日	→	同上
3月	4/3日	→	同上
4月	5/15日	→	同上
5月	6/9日	→	同上
6月	7/3日	→	同上
7月	7/24日	→	同上
8月	会見なし	(→)	(同上)
9月	9/25日	↗	持ち直している
10月	10/24日	→	同上
11月	11/22日	→	同上
12月	12/13日	→	同上
2024年 1月	1/26日	→	同上
2月	2/28日	→	同上
3月	4/1日	→	同上
4月	4/22日	→	同上
5月	5/29日	↘	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している
6月	7/1日	→	同上

各論

1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、下げ止まっている。

食料品は、下げ止まりつつある。

設備投資は、緩やかに増加している。

6月短観（北海道地区）における2024年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。

百貨店は、回復している。スーパーは、増勢が鈍化している。コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、下げ止まっている。サービス消費は、回復している。

観光は、回復している。

住宅投資は、減少している。

新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲は、減少している。貸家は、緩やかに持ち直している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

主要業種別にみると、食料品、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。輸送機械は、持ち直している。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率は前月並みとなった。

5. 企業倒産

企業倒産は、増加している。

6. 金融情勢

預金残高は、個人預金を中心に増加している。

貸出残高は、高水準で推移しているものの、減少している。

貸出金利は、緩やかに上昇している。